

# 平成 28 年における申告・立替払・相談等の状況について

平成 29 年 8 月

青梅労働基準監督署

## 労働相談等の概要

労働相談件数 3,393 件 (対前年比 1,521 件 増加 181%)

項目別	・ 賃金不払	522 件
	・ 労働契約	377 件
	・ 解 雇	360 件
	・ 年次有給休暇	357 件

\***労働相談**：来署，電話，投書等により当署に寄せられたもの。

## 申告事案の概要

受理件数 62 件 (対前年比 33 件 増加 213.8%)

事案の内容	・ 賃金不払	47 件
	・ 解雇	10 件

\***申告**：労働者から当署に対し労働基準関係法令の違反について通告がなされること。受理した申告は臨検等により事実確認の上，違反を認めた場合は是正を勧告し，改善を指導する。

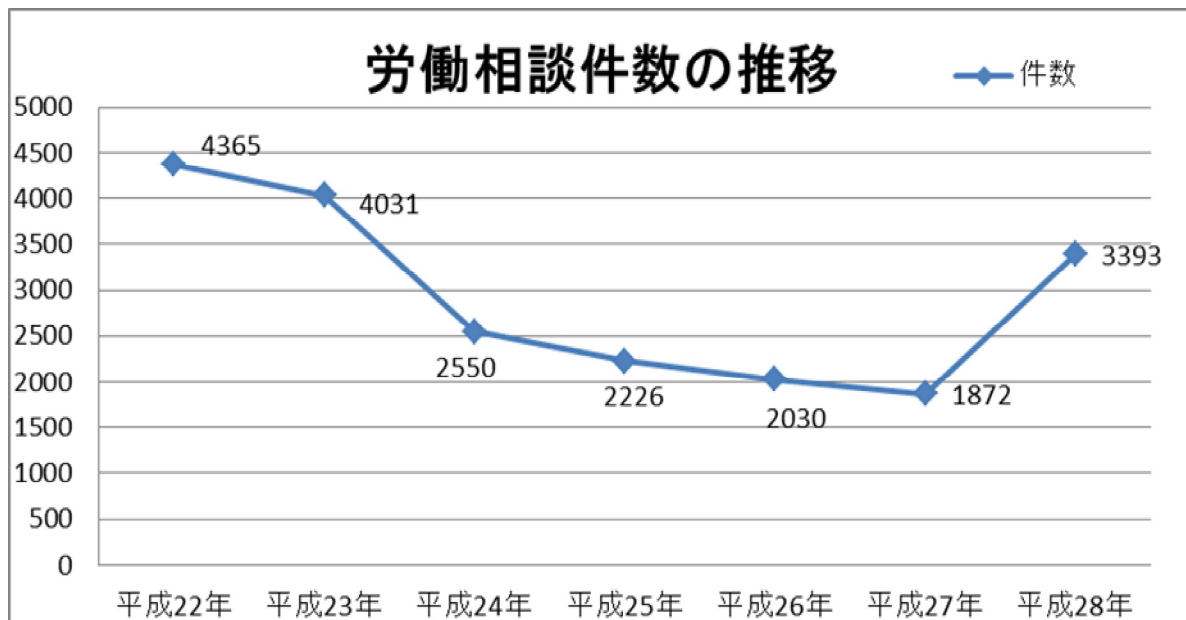
## 未払賃金立替払

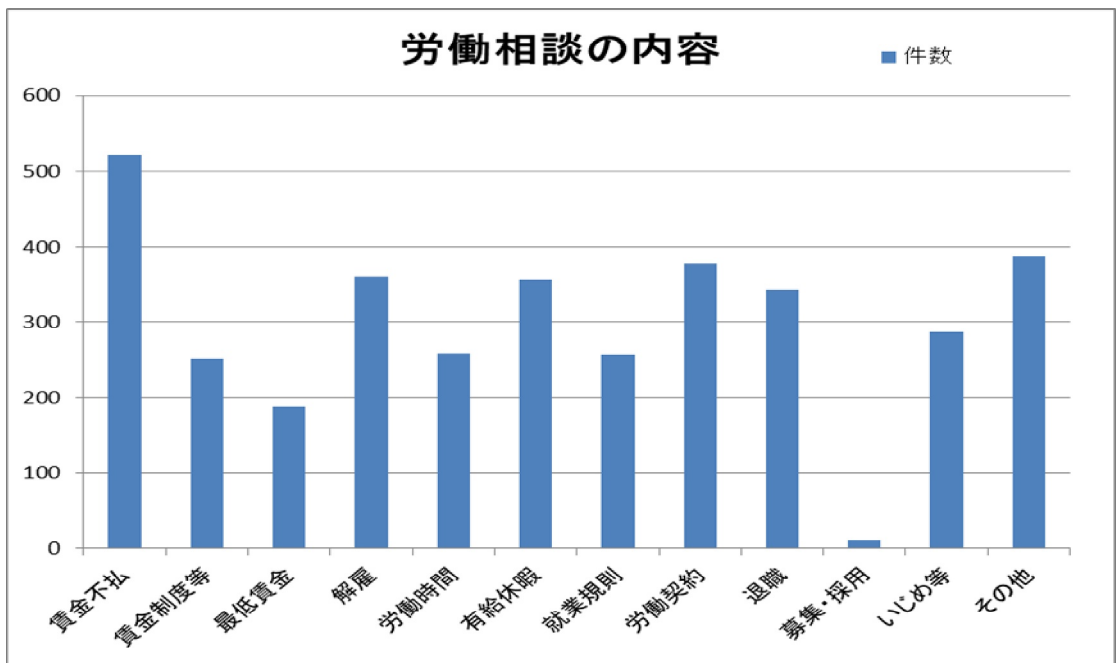
認定申請件数 2 件 (対前年比 1 件増加) 認定件数 2 件 (対前年比 1 件増加)

\***未払賃金立替払制度**：企業が「倒産」したために、賃金が支払われないまま退職した労働者に対し、条件を満たした場合にその未払賃金の一定範囲について労働者健康福祉機構が事業主に代わって支払う制度。

## 1 労働相談

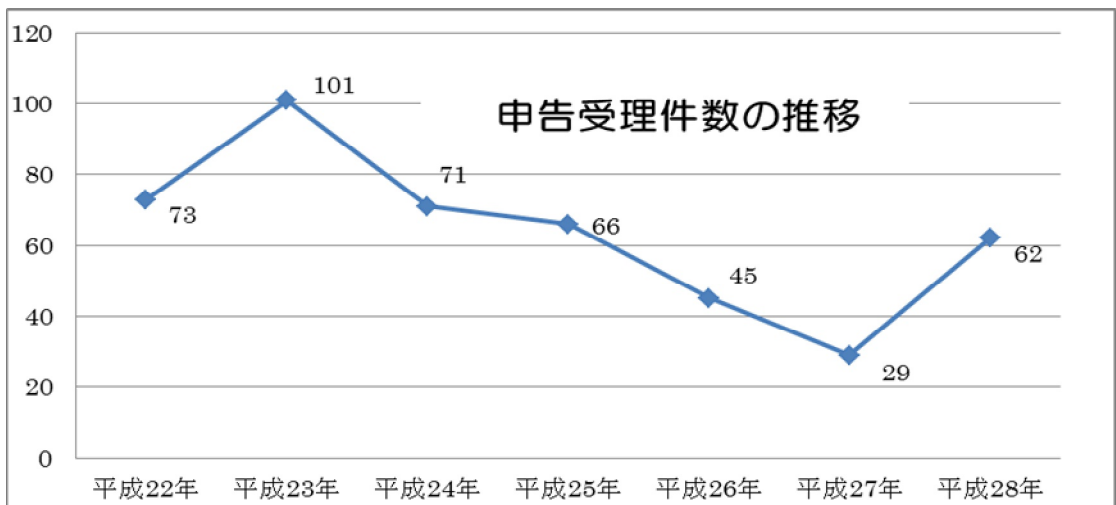
平成 28 年に寄せられた労働問題全般にわたる相談件数は 3,393 件で、対前年比で 181% の増加となった。相談のほとんどは労働者で、内容は『賃金不払』に関する相談件数が最も多く、『労働契約の内容』、『解雇』、『年次有給休暇』と続いていた。相談件数は大幅な増加傾向にあり、無期転換ルールへの対応などを含む労働契約の内容が始めて相談内容の上位となった。





## 2 申告処理

平成 28 年に当署が新規に受理した申告件数は 62 件で、前年比で 33 件増加 (213.8%) した。内容別では『賃金不払』47 件 (75.8%), 『解雇』10 件 (16.1%) が多く、業種別では建設業が 19 件と最も多く (30.6%), 次いで接客娯楽業 8 件 (12.9%) の順であった。



## 3 未払賃金立替払

平成 28 年に当署が受理した未払賃金立替払に関する認定申請件数は 2 件であった。

